

中津市民病院 広報誌

# ゆりかご



Vol.23  
平成29年9月発行



## 目次

- 院内コンサートについて…………… P2
- トピックス…………… P3～10
  - 1. ふれあい看護体験…………… P3
  - 2. NST講演会…………… P4
  - 3. 第24・25回中津市民病院健康教室 …… P5
  - 4. 看護事例発表会ケーススタディ…………… P6
  - 5. 開院記念講演会…………… P6
  - 6. 院内コンサート…………… P7
  - 7. 中津市民病院ICLSコース…………… P8
  - 8. 第1回なかつ広域「がん化学療法」  
学びのすすめ…………… P9
  - 9. 第1回地域連携会…………… P10
- 院内研修会・研修報告会…………… P11
- 外来診療担当医表…………… P12

## 院内コンサートについて

皆さんはお気づきでしょうか？病院受付の片隅に電子ピアノがあります。このピアノは以前当院に入院されていた方から寄贈していただいたものです。その方は中学校の音楽の先生でしたが、「病院には美しい音楽が必要です」といつもおっしゃられておりました。その方のご遺志を受け継ぐべく、当院では季節ごとに院内コンサートを開催したいと思っています。とは言え、病院スタッフやその友人達の演奏ですので、感動的とは言えないかもしれませんが、皆さんが笑顔になるように、これからも頑張りたいと思っています。



## ふれあい看護体験

毎年5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。12日を含む1週間を「看護週間」として、社団法人大分県看護協会では、“看護の心をみんなのところに”をテーマに「ふれあい看護体験」を県内医療機関において実施しています。

そこで、当院においても、看護や医療に関心のある高校生を対象として、15名の方が1日看護師体験を実施しました。体験後、医療現場のチームワークの大切さや、看護師の患者や家族への対応の仕方から家族への看護の必要性を実感する学生もいました。さらに、医療の道を進む気持ちが高まった学生もいました。



## NST講演会

平成29年5月19日（金）の18時から、外部より講師をお招きして院内スタッフと外部の医療機関、老人福祉施設等に声かけをして、NST講演会を開催しました。多職種の連携によるチーム医療を基本としたNST（栄養サポートチーム）活動の中で、患者さんに接してその訴えを傾聴し、疾患を栄養面から適切に支援することが求められています。NST活動が全国に広がりを見せていることもあり、病院内外から111名の参加がありました。講師は上尾中央総合病院栄養サポートセンター長の**大村健二**先生で、日本静脈経腸栄養学会の会長の経験もある高名な先生ですが、当院是永院長とはご友人とのことで、講演を快く引き受けてくださいました。1時間の講演時間でしたが、ユーモアを交えた軽快な語り口は聴く人の心を魅了し、もっと聴きたかったと思った人も多かったようです。

テーマは「中津のお年寄りをますます元気に～市民の幸せを守る栄養管理とリハビリ～」でした。高齢になっても元気に過ごしている人は、若い人に劣らず、しっかりと動物性たんぱく質を摂取していることが多いようです。骨格筋量を保つことは、とりわけ高齢者では重要です。この講演会の後、患者さんから「野菜を食べるよりも肉を食べなさい、と主治医の先生から言われた。」という声をよく耳にします。

サルコペニアは「骨格筋・筋肉の減少」を意味します。筋肉の合成にはたんぱく質だけでなく、エネルギーが必要です。エネルギー必要量を設定する際、リハビリテーションによるエネルギー消費量を考慮しなければなりません。リハビリテーションの強度や時間によって、かなりのエネルギーが消費されるため、補充しなければ体重（筋肉量）は減少し、栄養状態は悪化します。大村先生が「運動の後に牛乳を1杯飲みましょう。牛乳には吸収のよいホエイたんぱく質が含まれています。」と言われていました。これならすぐに実行できそうです。今後は大村先生にご講演いただいた内容を当院でも実践していけるように、「リハビリテーション栄養」にも取り組んでいきたいと考えています。



## 第24・25回中津市民病院健康教室

平成29年5月20日（土）14時より中津市民病院2階講堂において、当院病院事業管理者横田昌樹医師による「健康情報のウソとホント~健康長寿日本一を目指して~」と題した健康教室を開催し、中津市内をはじめ近隣市町村の市民や医療福祉関係者等37名の参加をいただきました。

講演では日本人の死因や健康寿命、肥満の原因や健康食品の情報や貝原益軒の「養生訓」の紹介、腸内フローラの話など様々な健康情報や健康維持のポイントについて、データや写真などを使って説明がありました。参加者からは「内容が分かりやすくて良かったです。健康情報の広告などを安易に信じてしまいそうになるので、勉強になりました。」等の感想が聞かれました。

また、平成29年8月19日（土）には、当院副院長は松聖悟医師による「子どもの発熱、咳、けいれん、嘔吐！！どうしたら良いの？」と題した健康教室を開催し、中津市内をはじめ近隣市町村の市民や医療保育関係者等57名の参加をいただきました。

講演では、子どもの発熱や咳、けいれん、嘔吐時の対応方法や抗菌剤の役割、予防接種の重要性、夜間に症状が出た際の受診フローチャートについてなど、分かりやすくイラストやデータを使って、クイズ形式でお話がありました。受講者は熱心に話を聞かれ、クイズには楽しんで参加されていました。参加者からは「クイズ形式で分かりやすかったです。子どもも楽しんで聞くことができました。」「分かりやすく説明していただいたので、とても良かったです。知っているつもりでしたが、間違っていたりと勉強になりました。」等の感想が聞かれました。当日は、中津ケーブルテレビの取材があり、後日「中津ふるさとTV」で放送予定となっています。また、過去の健康教室の内容を収録した「中津ふるさとTV」のDVDは小幡記念図書館で貸し出しており、YouTubeでは動画配信も行っております。是非ご覧ください。

次回の健康教室は、平成29年11月に大腸がんについて講演予定です。



## 看護事例発表会ケーススタディ

看護部では継続教育の一環としてレベルIIAを対象とした事例発表会の1回目を平成29年6月26日(月)、2回目を7月14日(金)に行いました。2回目は平成29年7月九州北部豪雨の影響で1週間遅れて開催することになりましたが、多くの方に参加していただく事ができました。

質問等も活発にあり、新人からの成長を感じる事ができる発表会となりました。



## 開院記念講演会

去る7月1日(土)に、平成29年度中津市民病院開院記念講演会を開催しました。

看護部より2名、研修医9名の発表の後、OB3名の近況報告がありました。OB松股孝先生の「あぶない野菜」、松田裕之先生の「近況報告」、研修医OB上田翔平先生の「大学院1年を振り返って」と非常に盛りだくさんな内容で、出席者一同大変興味深く拝聴致しました。

講演会終了後は例年のごとく懇親会を行い、昔の思い出話などに浸り非常に楽しく有意義な会でした。



## 院内コンサート

平成29年7月7日（金）、夏の院内コンサートを行いました。トップバッターは当院副院長の木村医師のギター弾き語りです。木村医師の作詞作曲で中津の風景を歌われました。続いては小生（小路）のピアノ弾き語りで、昭和のJ-popを歌わせていただきました。最後は「ザ・カシューナッツ」と言う、豊前市や中津市で活動されている女性二人組のバンドの歌でした。彼女らの素敵な声と、バックを務めていただいたギターの方との絶妙なハーモニーで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。これからも計画していきますので、皆さんの参加をお待ちしています。



## 中津市民病院 I C L S コース

平成29年7月22日（土）に、大分大学医学部附属病院救急救命センターの医師をディレクターに招き、当院講堂で「中津市民病院ICLSコース」を開催しました。3月4日（土）にもすでに開催されており、今年2回目のコース開催となりました。「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語で、医療従業者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。

前回に引き続き、院内スタッフから受講希望者が多く、今回も定員を大幅に超える応募がありました。今回はその中で選考された医師、研修医、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士の総勢12名が受講しました。受講者はCPR（心肺蘇生法）の基本的技術（胸骨圧迫）の習得から始まり、最終的には様々な状況変化に応じたチーム蘇生を実施し、習得していきました。

受講したスタッフからは「とても実践的なコースで大変勉強になった」「急変対応に自信がついたので、これからは積極的に処置に参加できる」などの意見をいただきました。

この中津市民病院ICLSコースは職員の救急対応レベルのさらなる向上を目的とし、院内の「DMAT（災害派遣医療チーム）及び災害拠点病院運営委員会」が主催・運営しております。現在は年3回のペースでのコースの開催を当面の目標として、スタッフ一同頑張っております。尚、中津市民病院ICLSコースは現在のところ、院内スタッフに限定したコースとなっておりますが、いずれは中津市近隣の医療施設スタッフの方々にも参加していただけるようなコースにしたいと思っております。



## 第 1 回なかつ広域「がん化学療法」学びのすすめ

平成29年8月5日（土）に、大分県初の試みであるがん診療連携拠点病院主催の薬剤師向けの研修会として、第1回なかつ広域「がん化学療法」学びのすすめを開催いたしました。

がん治療は、入院で行う時代から可能な限り患者さんの日常生活を保つために、外来で行う流れになってきています。その中で、がん診療連携拠点病院には、地域の病院・診療所や保険薬局と連携し、がん治療の専門知識を持った薬剤師の育成とその薬剤師による患者さんサポートが求められています。

薬剤師が服薬指導を通じて、患者さんの副作用をチェックすることで、安心・安全ながん治療を地域全体で共通認識し、薬剤師のスキルアップを図っていくことを目的としています。

当日は、大分県佐伯市や福岡県行橋市に勤務する薬剤師31名が参加しました。ファシリテーターとして国立がんセンターより小井土啓一先生、大分大学病院より佐藤雅己副薬剤部長、アルメイダ病院より陸丸幹男先生をお招きし、当院のがん認定薬剤師と共に各グループでのディスカッションがスムーズにいくようにしました。また、福山医師による「近年の肺癌治療」、上ノ段薬剤師による「抗がん剤の副作用」の講義を行いました。その後、各グループに分かれて、副作用のチェック方法や模擬の服薬指導で副作用の対応方法の実習を行いました。

今後も地域全体で患者さんをケアできるように、当院主催の勉強会を開催していきます。



## 第1回地域連携会

平成29年8月31日（木）14時より中津市民病院2階講堂において、中津市介護支援専門員協会と共催で「地域連携会」を開催し、市内各介護支援事業所と中津市民病院の退院支援担当者合わせて38名の参加がありました。

今回の連携会では、いずみの園介護保険サービスセンター瀧澤由美恵ケアマネージャーより「終末期ケアの利用者を在宅に迎えるにあたって～ケアマネージャーの立場から～」と、中津市民病院病床管理課入退院支援係の梶原優貴さんより「中津市民病院の退院支援について」の2題の発表と、各グループに分かれてのグループワークを行いました。

グループワークでは、退院時の支援や連携について活発な意見交換が行われ、医療と介護の連携強化への関心の高さが伺えました。

今後も定期的な開催を予定しており、担当者同士の顔が見える関係づくりが促進され、住まい・医療・介護・生活支援が一体的に提供される地域ケアシステム構築の一助になればと思います。



## 研 修 報 告 会

講演内容	月 日	講 師	
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017	4月13日	薬剤師	上ノ段友里
そうだったんだ 地域包括ケア病棟	4月20日	副院長	木村 龍範
第69回日本産科婦人科学会学術講演会	4月27日	産婦人科医長	甲斐健太郎
		産婦人科医師	青柳 陽子
日本医療マネジメント学会大分支部大会	5月25日	栄養管理係主幹(総括)	小犬丸恭子
		副看護師長	田中 直子
		看護師	和氣 幸
第117回日本外科学会定期学術集会	6月 1日	外科医長	永松 敏子
		研修医	桜井 浩平
第54回日本小児外科学会学術集会	6月 8日	小児外科医師	谷口 直之
第37回日本脳神経外科コンgres総会 第2回婦人科癌プロトコルコンセプトワークショップ	6月15日	脳神経外科医長	松尾 吉紘
		産婦人科医長	甲斐健太郎
平成28年度第6回がんのリハビリテーション研修	6月29日	外科部長	永田 茂行
		看護師	中川 真吾
		理学療法士	中井 優輔
		理学療法士	金色 宏祐
第2回HBOC教育セミナー	7月20日	外科医長	永松 敏子
第28回九州ストーマリハビリテーション講習会	8月10日	看護師	園田 千晴
第254回福岡外科集談会	8月17日	研修医	河波 政吾
第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	8月24日	産婦人科医長	甲斐健太郎
National ORTHO Transfusion Seminar 2016 第65回日本輸血・細胞治療学会総会	8月31日	臨床検査技師	谷村 純子
第27回遺伝医学セミナー	9月 7日	産婦人科医長	甲斐健太郎



# 外来診療担当医表

※非常勤医師については、記載しておりません。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科		古川祐太郎 小路 高史	久米 治	古川祐太郎	小路 高史 久米 治	古川祐太郎
消化器内科		日置 智惟 宮ヶ原 典	下川 雄三 日置 智惟	梅野 成大	梅野 成大 宮ヶ原 典 下川 雄三	横田 昌樹
糖尿病・内分泌内科		池田 元彦 工藤 佳奈	中尾 裕	工藤 佳奈 中尾 裕	工藤 佳奈	中尾 裕
血液内科		池田 元彦		池田 元彦		池田 元彦
小児科		是松 聖悟	是松 聖悟 合志 光史	合志 光史	是松 聖悟	井上 真紀 是松 聖悟 または 合志 光史
小児外科						担当医
脳神経外科		古賀 広道 松尾 吉紘	古賀 広道 (午後手術)	古賀 広道 松尾 吉紘	手術日	古賀 広道 松尾 吉紘
消化器外科		甲斐成一郎 一万田充洋	折田 博之 永田 茂行	折田 博之 甲斐成一郎 一万田充洋	折田 博之 永田 茂行	甲斐成一郎
呼吸器外科			福山 康朗 倉光絵梨奈			福山 康朗 倉光絵梨奈
乳腺外科		永松 敏子		永松 敏子	永松 敏子	
心臓血管外科		木村 龍範 嶋岡 徹	手術日	木村 龍範 嶋岡 徹	手術日 木村 龍範 (再診のみ)	木村 龍範 嶋岡 徹
泌尿器科		岩渕 直人	岩渕 直人	手術日	岩渕 直人	岩渕 直人 (午後手術)
産婦人科		古川 雄一 松原 友子 衛藤 聡	古川 雄一 衛藤 聡 甲斐健太郎	手術日	甲斐健太郎 松原 友子 衛藤 聡	古川 雄一 松原 友子 甲斐健太郎
放射線科		日高 啓 村山 僚 村山佑里子	日高 啓 村山 僚 村山佑里子	日高 啓 村山 僚 村山佑里子	日高 啓 村山 僚 村山佑里子	日高 啓 村山 僚 村山佑里子
歯科口腔外科		高橋 喜浩	高橋 喜浩 (新患のみ)	高橋 喜浩	高橋 喜浩 (再診のみ)	高橋 喜浩

※1 小児科は上記医師が新患責任者です。新患責任者が担当者を決定します。新患責任者が診療を担当する訳ではありません。  
 ※2 整形外科・耳鼻いんこう科はしばらく休診します。

## 外来診療案内

受付時間: 午前8:30～午前11:00

休診日: 土曜日・日曜日・祝日

年末年始 (12月29日～1月3日)

※救急の患者さんや予約の患者さんは、上記時間外でも対応させていただきます。

## 表紙…院内コンサート

詳細については、2ページにて紹介しております。  
ご覧ください。

## 面会時間

平日: 午後1時～午後7時

土・日・祝日: 午前11時～午後7時

面会時のお願い

- 当院では、患者さんご面会の皆様のために面会室を用意しています。お気軽にご利用ください。
- 入院している患者さんの安静や診療の妨げにならないよう、決められた時間内をお願いします。
- 大勢の面会は、患者さんの安静の妨げになりますのでご遠慮ください。また、お子様は感染防止のうえからも特別な場合を除いてご遠慮ください。
- 病状によっては面会をお断りする場合があります。一日も早く回復していただくためご協力ください。



中津市立 中津市民病院

〒871-8511 大分県中津市大字下池永173番地  
TEL:0979-22-2480(代表) FAX:0979-22-2481(代表)

中津市民病院 ゆりかご 検索